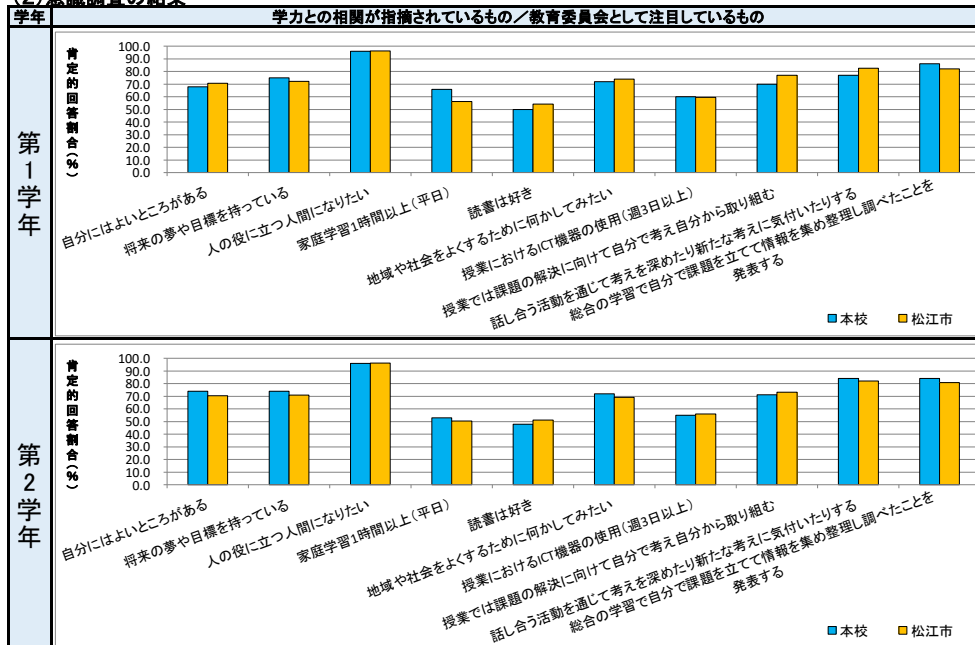


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(○)
第1学年	国語	成果 ○「書くこと」の領域において、読み手の立場に立つて文章を整える力が付いている。 ○「読むこと」の領域において、文章の流れや組み立てについて根拠を明確にして考えることができている。	・授業では毎時間漢字の小テストを行っているが、文法も同じように小テストを取り入れるなどして知識の定着を図っていく。 ・書かれている文章を基に要旨を捉え要約する活動や、書かれている文章に対して自分の意見をまとめて作文を書く活動を多く取り入れ、文章で適切に表現する力の向上を図る。  ・授業でのプリントを用いた数学的活動を通した事項・法則などの習得、課題プリントやワークへの細やかな指導や支援をこれからも継続し、基礎・基本が不十分な3割の生徒には、引き続き解く考え方やコツを指導していく。 ・文章題・応用題などの読解・解法の場を多くして、考え方や筋道を立てる思考力や表現力の育成を図る。
		課題 ●「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、文法の文節に関しての知識が定着していない。 ●「読むこと」の領域において、目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。	
	数学	成果 ○知識・技能に関する問題のうち、特に方程式と関数の技能が身に付いている。 ○表やグラフ、図を書くなどの数学的活動の成果が表れている生徒が多い。	
		課題 ●思考・判断・表現に関する問題のうち、特に、文字式と図形領域に課題がある。 ●文字を用いて表す約束や数量関係の把握、図形の性質や特徴について十分な理解ができていない。	
	英語	成果 ○語形・語法の知識・理解を問う問題での正答率が高く、なかでも対話文を読み取り解く問題で成果が出ている。 ○自分が好きなもの(こと)についての英作文について、相手に伝わるように3文以上で書く力が付いてきている。	
		課題 ●日常的な話題について聞き取り、概要をつかむ力に課題がある。 ●対話の流れに合った英文を考え、作文する力が弱い。	
第2学年	国語	成果 ○我が国の言語文化に関する知識が身に付いている。 ○短歌についての文章を書く問題について、学習内容が定着している。	・図書館とICT機器の活用を併用しながら、情報リテラシーを学習し、調べた内容を発表・共有したり、相互評価を実践したりする授業展開を工夫する。 ・朝読書の時間や授業開始時の帯単元を活用し、文学的文章のみならず、様々な分野の書籍に触れる機会を増やしたり、生徒相互が情報交換することにより、積極的に読書を行う姿勢を醸成し、文章を読み取る力につながる活動を行う。  ・授業の中で数学用語や知識を活用しての思考や説明の機会を増やす。  ・継続的に基本単語や文型を練習し、正しく読めることや正しく書ける指導を心がける。 ・既習の表現を、スモールトークやペア・グループ活動、eライブラリを使って、繰り返し練習し定着を図る。 ・目的や場面、状況に応じて英文を話したり書いたりする活動を増やし、より正確に表現できる力を育てる。
		課題 ●情報の扱い方に関する問題や、文学的な文章を読む問題に課題がある。	
	数学	成果 ○授業で総合分野での小テストを実施しているので、知識・技能は身に付いてきている。中でも、図形分野の知識・技能が定着している。 ○証明問題は、ワークシートなど細かく支援をしているので苦手意識がない。	
		課題 ●思考・判断・表現を問う問題や、関数分野、1次関数を説明する問題に課題がある。	
	英語	成果 ○内容を理解し、聞き取れた内容を答える力が付いている。 ○語いの知識・理解や単語の並べ替えによる英作文の力が付いている。	
		課題 ●単語の時制の変化や、場面に応じて書く英作やテーマに沿ってまとまりのある英文を書くことに課題がある。	

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞  
 成果○：強み/伸ばしたい点 について  
 課題●：弱み/改善を要する点 について

【第1学年】  
 ○総合的な学習の時間で課題を設定し情報を集め調べたことを発表する活動に主体的に取り組める。  
 ○9割以上が人の役に立つ人になりたいと回答した。  
 ●授業で課題解決に向けて、自分で考えて自分から取り組む力が低い。→発問や課題の工夫  
 ●話し合い活動を通して考えを深めたり新たな考えに気づくことができるように手立てを工夫する。

【第2学年】  
 ○話し合い活動を通して考えを深めたり、新しい考えに気づいたりできている生徒が多い。  
 ●ICT活用が少ない。→授業や家庭学習に活用  
 ●家庭学習時間が少ない。→自学ノートの徹底  
 ●将来への夢や目標がない。→キャリア教育の視点をもった指導を行う。

【R7学力調査受検者数】

第1学年	222	名
第2学年	246	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示